

「由木の里のメカイ」講座を開催

～東京都無形民俗文化財に指定された伝統工芸のかごを作しましょう～

このたび南多摩のメカイの制作技術が、都民の生活文化の特色を示す民俗技術として東京都の無形民俗文化財に指定されました。指定後に初めてのメカイ制作講座を生涯学習センター南大沢分館で開催します。

- 1 開催日時 11月19日（日）10：00～16：00
- 2 会場 生涯学習センター南大沢分館 第2創作室（南大沢2-27）
- 3 講師 塩谷 暢生さん（八王子由木メカイの会代表）
- 4 その他

メカイは、多摩地域の里山で自生する篠（＝アズマネザサ）の表皮を薄く剥がしたものを編み上げる六つ目の籠です。

農作業や炊事など日常遣いの道具として重宝されるとともに、農家の重要な現金収入源となっていました。さらに篠を伐採して材料とするため、高度経済成長期以前の生活に欠かすことのできない里山の維持にも役立っていました。



▲江戸時代から制作されていたメカイ

※本講座を取材していただける場合は、事前に学習支援課までご連絡ください。

<問い合わせ>

生涯学習スポーツ部学習支援課長 松井

電話042-648-2231